人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。
なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 当院における肝細胞癌・甲状腺癌患者に対するレンバチニブ投与時の肝予備能と Grade 2 以上薬剤性肝障害(G2DILI)発現との関連に関する後方視的観察研究
	●研究の対象 2025 年 1 月から 2026 年 3 月までに、当院でレンバチニブ（分子標的薬の一種）による治療を受けた肝臓のがん（肝細胞がん）または甲状腺がんの患者さん
	●研究の目的 レンバチニブというお薬は、肝臓の働きが低下している方では、お薬の効き方や体への影響が変わることがあります。この研究では、日頃の診療で得られる血液検査などの情報をもとに、肝臓の働きの状態とお薬による副作用（肝機能障害）との関係を調べます。得られた結果は、今後、肝臓の働きが低下した患者さんに、より安全にお薬を使うための参考にすることを目指しています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2031 年 9 月 30 日
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する情報の項目≫	●研究に使用する情報 血液検査の結果（肝臓や腎臓の働きに関する値など）、お薬の投与量や投与期間、体の状態に関する情報（体重など）、副作用の有無や程度　など
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学　川田一仁

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人　浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192　浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　浜松医科大学医学部附属病院　肝臓内科 担当者：　則武秀尚 TEL：　053-435-2111（病院代表）